

サークル紹介
千鷲球会

千鷲会の皆さん、明けましておめでとうございませう。

今回は、サークル活動「千鷲球会」を紹介いたします。

当会はゴルフを通じて会員相互の親睦を図ることを目的としています。会員は賛助会員を含め70名で、4月から11月まで月1回平日に、また勤務の関係で平日参加が難しい会員のために7月から9月まで月1回休日にコンペを開催しました。

また、ゲストとして現役隊員、さらに基地航空祭の翌日には、道外のOBも多数参加。ゴルフは他のスポーツとの違いは、ハンディがあり、ペナントとレギュラーが対等にプレーでき、誰にでも優勝のチャンスがあります。しかし、メンタルスポーツでもあり筆者の場合先程出来たショットが出来なく、あれ？といった感じで、試行錯誤。次第に体が硬く



植苗カントリーにて

なり(その分、口は柔らかなります)が、思い通りにクラブが振れないことも実感しております。しかし、諸先輩の省エネ打法を見習い、またツキも味方にベストスコア更新を目指してまいります。一面の緑の世界に踏み出して、一緒に気持ち良くドライバーを振りまかせんか？入会お問い合わせは、幹事 畑田 信也 (090-3880-9686)まで

絵手紙作品

北斗書画塾

木野村

光峰



この私が昨年夏に傘寿を迎えた。正直なところ、10年前の自分には想像もし得なかつた年齢への到達であり、我事ながら正しく驚愕している。体質的に悪いところは見事なまでに受け継いでいる自分なのに両親よりも長寿とは・・・と。加えて、自分は永年パイロットとして身体を酷使してきたというマイナス要因もあったのに。

両親の時代に比して現代の医学は著しく進歩しており、投与される薬を含む最新の医療によって私は単に永年生活かされ続けてきただけのこと・・・。(いささか回りくどい表現だが、どうもこの年齢になると何事にも素直な考え方が出来ない自分に気がつく。)

で他人様に迷惑をかけるに及ぶ第二の職場も大過なく全うした。さて、次いで残された余生をいかに送るか・・・そこでまた考えた。私の好きなパークゴルフやカラオケなどの趣味を満喫するために、悔いを残さぬよう常に動ける身体でありたい。

人生の終焉を控えて思うこと

千鷲会参与

中村 文保

つまり「その時」が来るまで「自分の意思で動ける身体」を維持し続けたい・・・いつしかこれが私の信条となった。それ故に私は他人様の言葉にはあまり耳を貸さず、過去7回の入院手術を繰り返してきた。時には己の言動に何かしらの疑念も覚えたが、でも「死ぬま

に支えられ、今まではなんとかこの様に健康状態が維持されてきたが、何はともあれ、現下の私の最大願望であるPK(ペンペンコロリ)にありつけることを急いで止まない自分である。

ついで、私は常々「いとお迎えが来ても自分の人生に悔いはない」と公言してきた。確かにこれは偽らざる私の信条でもある。戦間機パイロットになりたて一心から航空自衛隊に飛び込んで31年余・・・曲がりなりにも所期の念願を叶え

家内の栄養管理にも支えられ、今まではなんとかこの様に健康状態が維持されてきたが、何はともあれ、現下の私の最大願望であるPK(ペンペンコロリ)にありつけることを急いで止まない自分である。

拝読多謝！

千鷲会の会員数

(1月1日現在)

正会員 649名
賛助会員

団体 16社
個人 13名

新入会会員
月河上 武男(指運隊)

物故会員

7月 加藤 輝章(寿)

11月 河野 典實(高台)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

お知らせ

投稿記事の募集

「千鷲会だより」は会員皆様方を紹介いたします。趣味、ボランティア、随筆、エピソード等、何でも結構です。お待ちしております。

投稿先及び問合せ先

〒420-0295 岡

〒420-0295 芦田(26)4053

〒22-7645 鶴

編集後記

この時期になると一年の早さを実感する。それも年とともに加速度的に。人生はマラソンに例えられるが、ラストスパートでなく自分のペースで完走したいと思う。その為にも、もう少し一年のスピードが遅くても良いのでは！と思う昨今です。(Y・T)